

走る



鼻とひづめが
青いね

駆け出す親子馬。裏面には「附馬牛村(つきもうしむら)」と記載があります。現在の遠野市にあった村です。

1

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦149×横182×厚さ8



栗毛の馬が2頭走っています。1頭は振り返って仔馬の様子を見えています。

2

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦146×横242×厚さ12



鹿毛の馬が1頭走っている様子が描かれています。中央に青で塗られているのは、その幅や長さから小川のようなものです。

3

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦134×横156×厚さ8



1頭の馬が走る様子が描かれています。馬の胴部には背中で結んだ帯状のものが巻かれ、この装束には雲のような模様が描かれています。

4

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦122×横143×厚さ7

表面



鹿毛の親子馬が後ろを振り
返りながら走っています。視
線の先には何があるので
しょうか…?

裏面



表と裏に同じ絵柄が!

5

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦169×横179×厚さ6

体の一部の色が落
ちてしまっていますが、力強く足を踏み、
今にも駆けだしそう
な様子です。



6

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦130×横162×厚さ8

食む



2頭の馬が親子そろっ
て草を食む様子が描
かれています。
裏面には彫刻刀のよ
うなもので文字を削
り取った痕跡がありま
す。

7

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦146×横179×厚さ8

あしのひらき方まで
そっくり!



8

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦152×横211×厚さ8

装う

二匹の馬が描かれており、左の大きな馬のみが馬衣を着ています。胴で結ぶものではなく、肩にかけるような衣装です。



9

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦162×横214×厚さ6



馬は、背に赤い飾り布を羽織り、緑の帯で締めています。絵馬の作り、馬の描かれ方から堂々とした印象を受けます。

10

採集地: 青森県佐井
寸法(mm): 縦222×横284×厚さ13(額装除く)



11

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦170×横239×厚さ8

黒色の馬が2匹、茶色の馬が1匹描かれています。3匹揃って追いかけてっこをしているのでしょうか。楽しそうな雰囲気が伝わってきます。

2頭の親子馬です。仔馬が親馬を見つめている様子がほほえましい一点。

毛並みも
おそろい



12

採集地: 岩手県遠野市
寸法(mm): 縦146×横186×厚さ10

連なる

ちょっと深掘り!①

絵馬の飾り方をみる

絵馬と絵馬堂

絵馬にはひもで吊るしてかけるもののほかに、拝殿や本殿、門などに飾られるものがあります。また社寺の中には奉納された絵馬を飾るための絵馬殿や絵馬堂と呼ばれる施設を持つものもあります。絵馬堂は、慶長13(1608)年に豊臣秀頼が北野天満宮に造営したのが始まりとされます。当時の人々にとって奉納された大絵馬の観覧は、寺社参拝の楽しみのひとつにもなっていました。

穴がない!

五角形
じゃなくて
四角形?



13

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦155×横227×厚さ7



14

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦168×横205×厚さ10

応用編

仙台近郊も あるいてみよう!



仙台市近郊の社寺で絵馬はどのように飾られているのでしょうか?

例えば大崎八幡神社では、拝殿の目の前に長床という中央ながとこが開き左右が室になっている建物が存在します。中央の門道部分と左右の室に大絵馬が飾られています。小絵馬は長床の前に絵馬掛けが作られ、ここにかけられています。

また塩竈市に鎮座する、古来より陸奥国一宮と呼ばれた鹽竈神社しおがまは、参道が七曲坂、表参道、東参道と3か所存在します。このうち、表参道を登った先にある隨身門ずいしんもんと、東参道を登った先にある東神門に大絵馬が飾られています。隨身門では拝殿からみて左手の回廊に大絵馬が飾られ、その前に小絵馬をかける絵馬掛けがあります。東神門では拝殿からみて右手の回廊に大絵馬が飾られています。

向きはどっち？



15

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦157×横213×厚さ7

左に向かって
歩く親子馬

一見どちらの絵馬も馬が書かれているだけのように見えますが、この2枚の絵馬、よく見るとそれぞれ馬の向いている方向が違います。「左馬」は、縁起の良い図柄とされていることから、馬がどちらを向いているのか、ということ意識して奉納した人もいるかもしれません。

右に向かって
走る黒い馬
上部に描かれた花も
どこか朗らか



16

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦122×横128
×厚さ7



白い体に赤の
衣装、あしや尻尾
たてがみは黒

17

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦146×横179×厚さ11

昔から黒毛の馬は雨乞いに使われ、白馬は日乞いに使われたようです。平安中期からは日乞いの際、白馬にかわり赤馬が使われることもあったといします。実物の馬をそろえることができない時は、絵馬をその代わりにしたそうです。中世末期以降には、日照りと降雨のどちらにも恵まれるようにと、白毛の馬と黒毛の馬の図を一对で奉納する風習がはっきりしてくるといいます。

黒い仔馬と
茶色の親馬
仔馬はかまって
ほしいみたい



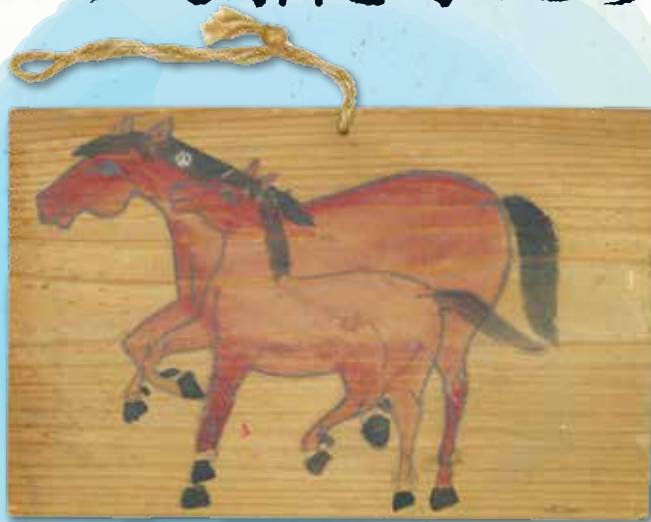
18

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦178×横182
×厚さ10

なにいろ？

ユニークな描き手たち

親子の馬が描かれています。仔馬は右前あしと頭を上げ、尻尾を立てて生き生きとしています。よく見ると、親馬のお腹を描いた線が仔馬に見えます。



21 採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦135×横212×厚さ11



練習したのかな?

22 採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦152×横179×厚さ6



たてがみと尾の毛が細かく描かれていて、毛の感触がはっきりと伝わってきます。裏面には下書きなのか、未完成の馬が描かれているのもおもしろいですね!

親馬が前を向き、仔馬が後ろを向いています。たてがみには墨が塗られ、豊かな毛並みです。

背景で
臨場感UP



23 採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦137×横190×厚さ10



八幡馬を描いた絵馬です。馬のたてがみや尻尾の毛は細かい線で描かれていて、毛の質感が感じられます。黒色のあしからも、その毛並みの質感が伝わってきます。

24 採集地:不詳
寸法(mm):縦168×横194×厚さ9



この絵馬は明治時代のもので、鹿毛の親子馬が描かれています。マンガのような表情と2頭のぱっつん前髪がかわいらしいです。親馬は尻尾が長いのですが、子馬の尻尾はまだ短くて、幼く見えます。

25

採集地:岩手県遠野市
寸法(mm):縦165×横224
×厚さ5



26

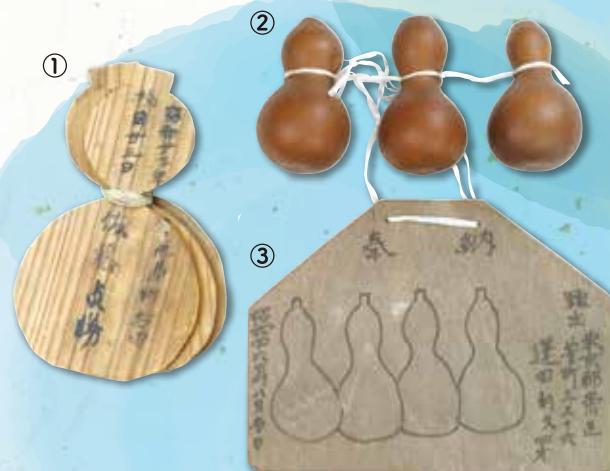
採集地:不詳
寸法(mm):縦145×横214
×厚さ8

大正時代に作られた絵馬です。親馬が右前あしを上げて走り出そうとし、仔馬がそれに遅れまいと走っています。子どもが親を追いかける感じが感じられます。

宝剣は絵馬としても使われます。通常は剣を持った神々が社寺の祭祀において用いられ、剣は悩みや災いを断ち切る象徴ともされました。

27

採集地:不詳
寸法(mm):縦455×横140×厚さ16
(うち、剣部分:縦350×横114)



28

採集地:福島県相馬市
寸法(mm)①:縦119×横70
②:縦220×横114
③:縦205×横277×厚さ5

これは夕顔観音の奉納物です。ひとつは、3枚重ねの小さなひょうたんをかたどった絵馬(①)です。台形の絵馬(③)の表面には4つのひょうたんが描かれ、3つのひょうたん(②)がひもでつながれています。



馬だけじゃない!